
祝、サモナイ 3、DS化！

よるきつね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

祝、サモナイ3、DS化！

【Nコード】

N1323S

【作者名】

よるきつね

【あらすじ】

エイプリルフルなのですっ。

日付の変わる十五分前に思い立って話を書き始めるとか、無理があった気がします。

というか、五十九分に投稿したものの新着一覧に載るのは次の日ですよね。

……なんというか、ごめんなさい。

そして短編小説のあらすじって、気づいてみれば作品の一番上に来

るんですね。

このあらすじはあとがきに書いたほうがよかったのかも……。

「――死ね！ エイプリルフルとかマジ死にやがれっ！」

「まあまあ。落ち着くの。それほど暴れ回らなくても」

健二の頭を水奈がよしよしと撫でる。

怒りは収まらず……かといって乱暴に水奈のことを振り払うこともできず、健二はうがーっと唸り声をあげた。

「ちくしょう、ついにバンプレが問題を解決したかと思ったのに……
……というか、版權は結局どこにあるんだ……」

「よしよし。いい子いい子。またP S 2で遊んでいればいいかもなの」

「うう」

「たとえ新作とかが出なくても、真に作品を思う気持ちはなくなることはないの。あなたの想いは消えないの」

「それは、まあ……」

「世界が続きを用意しないのなら、物語はあなたの中で続いているの。もっと、元気をだすの」

その言葉を全面的に飲み込めるわけではなかったが、健二は体を震わせた。こんなにも自分のことを思い、親身になってくれる人がいたなんて。

「水奈……大好きだっ!!」

「っ……!!? あのその、えっと」

思わず抱き着くと、水奈が不意になにも言わなくなる。

だが、静かに、彼女はそっと腕を背中に回してきてくれた。

「まあ、気が済むまで好きにしていればいいの」

言った彼女のその顔は、どこか恥ずかしそうに赤らんで見えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1323s/>

祝、サモナイ 3、DS化！

2011年10月6日00時27分発行